



安城市の子ども・子育てに関する アンケート調査

就学前

日頃より、安城市政にご理解とご協力をいただき、誠にありがとうございます。

さて、安城市では、子育て支援の充実を図るため、平成27年度に「子ども・子育て支援事業計画」を策定しました。そして、5年が経過する来年度に新たな5か年計画を策定します。

このため、子育て中の皆様に、現在の子育て支援サービスの利用状況や今後の利用希望をはじめとした、子育てに関するご意見・ご要望をお伺いし、計画に反映することを目的に、この調査を実施します。

本調査の趣旨をご理解いただき、ご協力くださいますようお願い申し上げます。

平成30年12月

安城市長 **神谷 学**

◆ご回答の前にお読みください。

1. このアンケートは、封筒のあて名のお子さんの保護者の方がご記入ください。
2. 特にことわり書きのある場合以外は、封筒のあて名のお子さんについてご記入ください。
3. お選びいただく選択肢の数が設問によって異なりますので、ことわり書きに従ってください。
4. 設問によってご回答いただく方が限られる場合がございますので、ことわり書きに従ってご回答ください。特にことわり書きのない場合は、次の設問にお進みください。
5. ご記入が済みましたら、同封の返信用封筒に入れ、切手を貼らずに**12月21日(金)までに**ポストにご投函ください。なお、調査票や封筒にお名前を書く必要はありません。
6. ご回答いただいた調査内容は、子育て支援施策の検討のみに利用させていただくものであり、回答者個人が特定されたり、他の目的に利用したりすることは一切ございません。統計的に処理し、その結果を市のホームページで公表いたします。

このアンケート調査に関するお問い合わせは、下記までお願いいたします。

安城市 子育て健康部 子育て支援課

◆電 話：0566-71-2227

◆FAX：0566-76-1112



アンケートを回答する前に…

子ども・子育て支援制度がスタートして4年が経過しようとしています。

安城市が進める子育て支援をより充実させるために、アンケートを実施することになりました。



子育て家庭

子育ての状況や
希望を把握



安城市



安城市子ども・子育て会議
【アンケート調査結果を考慮
して施策を検討】

（用語の定義）

この調査票における用語の定義は以下のとおりです。

認定区分	幼稚園、保育園、認定こども園、地域型保育を利用する際にうける支給認定 1号認定：満3歳以上、小学校就学前の子どもであって、幼稚園・認定こども園に就園する 2号認定：満3歳以上、小学校就学前の子どもであって、保育園・認定こども園に就園する 3号認定：満3歳未満の子どもであって、保育園・認定こども園に就園する
幼稚園	学校教育法に定める、3～5歳児に対して幼児教育を行う施設 (学校教育法第22条)
保育園	児童福祉法に定める、保育を必要とする0～5歳児に対して保育を行う施設 (児童福祉法第39条)
小規模保育所	0歳から2歳まで対象で、定員が6人以上19人以下の少人数で行う保育施設



PICK UP

認定こども園

○保護者の就労の有無や子どもが過ごす時間に関係なく、就学前の子どもの幼児教育・保育を一体的に行う、幼稚園と保育園の機能や特徴を併せ持つ施設です。



①生年月 (数字を記入)	平成 年 月生まれ	②きょうだい数	③末子の満年齢
		人	平成 30 年 4 月 1 日現在 満 歳

※③2人以上のお子さんがある場合は、一番下のお子さんの満年齢をご記入ください。

1. 安城南中学校区 2. 安城北中学校区 3. 明祥中学校区
4. 安城西中学校区 5. 桜井中学校区 6. 東山中学校区
7. 安祥中学校区 8. 篠目中学校区
9. わからない⇒ 町字名：() 【例】安城町赤塚

1. 父親 2. 母親 3. その他 ()

1. 父母ともに 2. 主に母親 3. 主に父親
4. 主に祖父母 5. その他（ ）

1. 父母と住んでいる
2. 父と一緒に住んでいる（父子家庭）
3. 母と一緒に住んでいる（母子家庭）
4. その他（自由記述）

△問6 あて名のお子さんは祖父母と一緒に住んでいますか。

また、近所(様々な移動手段を使い15分以内程度に行き来できる範囲)に祖父母が住んでいますか。(○はいくつでも)

選択肢はあて名のお子さんから見た関係です。

1. 祖父母のどちらとも一緒に住んでいる
2. 祖父母のどちらかと一緒に住んでいる
3. 祖父母のどちらともが近所に住んでいる
4. 祖父母のどちらかが近所に住んでいる
5. 祖父母と同居・近居していない
6. その他(自由記述)

○問7 あて名のお子さんの祖父母から受けている子育て支援は何ですか。(○はいくつでも)

1. 子どもの相手・預かり(日常的に)
2. 子どもの相手・預かり(急用等のとき)
3. 子どもの送り迎え
4. 教育やしつけ
5. 家事の手伝い
6. 金銭的な援助
7. 物資での支援
8. 全くない
9. その他(自由記述)

**○問8 あて名のお子さんの子育てをする上で、気軽に相談できる方はいますか。
(○はいくつでも)**

1. あて名のお子さんの祖父母、兄弟姉妹
2. 友人や知人
3. 近所の人
4. 幼稚園や保育園等の職員
5. 行政機関の職員(保健センター、子育て支援センター、あんぱ〜く等)
6. 民生委員・児童委員
7. かかりつけの医師
8. 気軽に相談できる人はいない
9. その他(自由記述)

◆次の問9は、(1) 母親と(2) 父親に関する設問です。

お手数ですが(1)(2)それぞれにお答えください。

ひとり親家庭の方は(1)(2)のどちらかにお答えください。

◎問9 あて名のお子さんの保護者の就労状況(自営業、家族従事者含む)をお答えください。

また、パート・アルバイト等で働いている方は、今後の就労希望についてもお答えください。

※フルタイムとは、週5日程度で1日8時間程度の就労。パート・アルバイト等とは、フルタイム以外の就労です。

※産休・育休・介護休業中の方は、休業に入る前の状況をご記入ください。

※就労日数が一定でない場合は、最も多いパターンをご記入ください。

※自宅で仕事をしている方の就労時間は、仕事の開始時間と終了時間を就労時間としてください。

(1) 母親の現状 (1～5のいずれか1つに○)		就業状況や希望 時刻は24時間制で記入(例17時台)	
1. フルタイムで働いている	就業 状 況	①就労日数：	日／週
2. フルタイムだが、 現在産休・育休・介護休業中		②平均就労時間（残業含む）：	時間／日
3. パート・アルバイト等で 働いている		③平均的な家を出る時刻： (土日祝の出勤がない場合は欄に 斜線  をお願いします)	平日： 時台 土日祝： 時台
4. パート・アルバイト等だが、 現在産休・育休・介護休業中		④平均的な帰宅時刻： (土日祝の出勤がない場合は欄に 斜線  をお願いします)	平日： 時台 土日祝： 時台
		左の選択肢で「3.」「4.」を選択された方は⑤をお答えください	
		フル タイム へ の 希 望	⑤フルタイムへの転換希望：(7～Iのいずれか1つに○) ア フルタイム希望で実現できる見込みがある イ フルタイム希望だが実現見込みはない ウ パート・アルバイト等を継続希望 エ やめて子育てや家事に専念したい
5. 現在は仕事をしていない	今 後 の 就 労 意 向	①今後の就労意向：(7～ウのいずれか1つに○) ア 子育てや家事等に専念したい（就労の予定はない） イ 1年より先、一番下の子が 歳になったころに就労したい ウ すぐにでも、もしくは1年以内に就労したい	
		②希望する就労形態：(7～Iのいずれか1つに○) ア フルタイム（週5日程度・1日8時間程度の就労） イ パート・アルバイト等 → 日／週・ 時間／日	



平日の定期的な幼児教育・保育事業の利用状況について伺います。

※ここでいう「定期的な幼児教育・保育事業」とは、月単位で定期的に利用している事業を指します。

具体的には、幼稚園や保育園等、問 10-2の選択肢に示した事業が含まれます。

◎問10 あて名のお子さんは現在、幼稚園や保育園等の「定期的な幼児教育・保育事業」を利用していますか。(○は1つ)

1. 利用している ⇒(P8)問10-2～問10-5、問11へ

2. 利用していない

問10で「2. 利用していない」と答えた方のみ

◎問10-1 利用していない理由は何ですか。(○はいくつでも)

選択肢の8を選んだ場合は、()に年齢をご記入ください。

1. 利用する必要がない
2. あて名のお子さんの祖父母や親戚の人がみている
3. 近所の人や父母の友人・知人がみている
4. 利用したいが、幼児教育・保育事業に空きがない
5. 利用したいが、経済的な理由で事業を利用できない
6. 利用したいが、延長・夜間等の時間帯の条件が合わない
7. 利用したいが、事業の質や場所等、納得できる事業がない
8. 子どもがまだ小さいため () 歳くらいになったら利用しようと考えている
9. その他(自由記述)

⇒(P11)問12へ



問10で「1. 利用している」と答えた方のみ

◎問10-2 平日にどのような幼児教育・保育事業を利用していますか。

年間を通じて「定期的に」利用している事業について、お答えください。

(○はいくつでも)

また、選択した事業で一番多く利用している事業の番号を記入し、現在の利用状況と希望する日数、時間をご記入ください。

【認定こども園】

1. 認定こども園(満3歳以上の小学校就学前子どもであって、幼稚園コースを利用)
2. 認定こども園(0～2歳、3歳以上の小学校就学前子どもであって、保育園コースを利用)

【幼稚園】

3. 公立幼稚園
4. 公立幼稚園の預かり保育(通常の保育時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ)
5. 私立幼稚園
6. 私立幼稚園の預かり保育(通常の保育時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ)

【保育施設】

7. 私立保育園(0歳から5歳まで対象の保育施設)
8. 公立保育園(0歳から5歳まで対象の保育施設)
9. 小規模保育所(0歳から2歳まで対象で、定員が6人以上19人以下の少人数で行う保育施設)

【その他】

10. 企業主導型保育施設(企業が従業員の子どもの預かるために設置した認可外の保育施設)
11. その他の認可外保育施設(事業所内保育施設も含む)
12. ファミリー・サポート・センター
(地域において育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、育児について助け合う会員組織)
13. 児童発達支援事業所(サルビア学園等)
14. その他(自由記述)

一番多く利用している事業	
--------------	--

(1)現在の利用状況 時刻は開始と終了を24時間制で記入	(2)希 望 時刻は開始と終了を24時間制で記入
週 日・1日 時間	週 日・1日 時間
(時 ～ 時)	(時 ～ 時)

(参考)

認定こども園	保護者の就労の有無や子どもが過ごす時間に関係なく、就学前の子どもの幼児教育・保育を一体的に行う、幼稚園と保育園の機能や特徴を併せ持つ施設です。
---------------	---

問10で「1. 利用している」と答えた方のみ

◎問10-3 現在、利用している幼稚園や保育園等はどこにありますか。(○は1つ)

1. 住んでいる中学校区内
2. 「1.」以外の安城市内
3. 他の市町村（市町村名_____）

問10で「1. 利用している」と答えた方のみ

◎問10-4 平日に定期的に幼児教育・保育事業を利用している理由は何ですか。
(○はいくつでも)

1. 子どもの教育や発達のため
2. 子育てをしている方が現在就労している
3. 子育てをしている方が就労予定である／求職中である
4. 子育てをしている方が家族・親族等を介護している
5. 子育てをしている方が病気や障がいがある
6. 子育てをしている方が学生である
7. その他（自由記述_____）

問10で「1. 利用している」と答えた方のみ

★問10-5 利用している施設について、満足していますか。(それぞれ○は1つずつ)

＜満足度＞	満足	やや満足	どちらでもない	やや不満	不満
1. 施設環境（園舎、園庭）	1	2	3	4	5
2. 保育士、教諭の適正配置	1	2	3	4	5
3. 実施行事	1	2	3	4	5
4. 給食	1	2	3	4	5
5. 利用料金	1	2	3	4	5
6. 駐車場	1	2	3	4	5
7. 預かり時間	1	2	3	4	5
8. 保護者への対応・情報提供	1	2	3	4	5

問10で「1. 利用している」と答えた方のみ

△問11 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで保育園等を休んだことがありましたか。そのときの対処法等をお答えください。(○はいくつでも)

1. 父親が仕事を休んだ
2. 母親が仕事を休んだ
3. 親族・知人（同居者を含む）に預けた
4. 働いていない保護者がみた
5. ベビーシッターを利用した
6. ファミリー・サポート・センターを利用した
7. 仕方なく子どもだけで過ごさせた
8. 病児・病後児保育室を利用した
9. その他（自由記述
10. 病気やけがで保育園等を休んだことはなかった

「1.」～「7.」に
○を付けた方

問11-1へ

問11で「1.」～「7.」と答えた方のみ

★問11-1 安城市の病児・病後児保育を利用しなかった理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 病児・病後児を他人にみてもらうのは不安
2. 地域の事業の質に不安がある
3. 地域の事業の利便性（立地や利用可能時間日数等）がよくない
4. 利用料がかかる・高い
5. 利用料がわからない
6. 親が仕事を休んで対応する
7. 病児・病後児保育を知らなかった
8. その他（自由記述

「1.」～「6.」に
○を付けた方

問11-2へ

問11-1で「1.」～「6.」と答えた方のみ

◎問11-2 この1年間に、あて名のお子さんが病気やけがで、保育園等を休んだ際、「病児・病後児保育を利用したい」と思いましたか。(○は1つ)

1. できれば利用したかった ⇒年間（ ）日
2. 利用したいと思わなかった

すべての方にお伺いします

◎問12 あて名のお子さんが病気やけがの際の対応として、あなたが考える対応の優先順位
(第2位まで)の番号を回答欄にご記入ください。

第1 優先	第2 優先

1. 仕事を休む等して親が対応する
2. 祖父母等、親族に預けて対応する
3. 友人・知人に預けて対応する
4. 病児・病後児の保育サービスを利用する
5. ベビーシッターを利用する
6. その他（自由記述

）



平日に利用したい定期的な幼児教育・保育事業について伺います

◎問13 現在利用している、利用していないにかかわらず、あて名のお子さんの平日の幼児教育・保育の事業として、「定期的に」利用したいと考える事業を①にご記入ください。

また、2019年10月から、幼児教育、保育の利用料が無償化されることが検討されていますが、無償化になった場合に利用したいと考える事業を②にご記入ください。

【幼児教育・保育の無償化の内容】(平成30年11月時点) この内容は確定したものではありません。

- 3～5歳児の認可保育、幼稚園、認定こども園の利用は全世帯無償化
- 0～2歳児の認可保育、幼稚園、認定こども園の利用は住民税非課税世帯が無償化
- 認可外保育では、0～2歳児の住民税非課税世帯は42,000円/月まで、3～5歳児は37,000円/月まで無償化

	0歳の時	1歳の時	2歳の時	3歳の時	4歳の時	5歳の時
記入例	7	7	7	4	4	4
①利用希望						
②無償化した場合						

【認定こども園】

1. 認定こども園(満3歳以上の小学校就学前子どもであって、幼稚園コースを利用)
2. 認定こども園(0～2歳、3歳以上の小学校就学前子どもであって、保育園コースを利用)

【幼稚園】

3. 公立幼稚園
4. 公立幼稚園の預かり保育(通常の保育時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ)
5. 私立幼稚園
6. 私立幼稚園の預かり保育(通常の保育時間を延長して預かる事業のうち、定期的な利用のみ)

【保育施設】

7. 私立保育園(0歳から5歳まで対象の保育施設)
8. 公立保育園(0歳から5歳まで対象の保育施設)
9. 小規模保育所(0歳から2歳まで対象で、定員が6人以上19人以下の少人数で行う保育施設)

【その他】

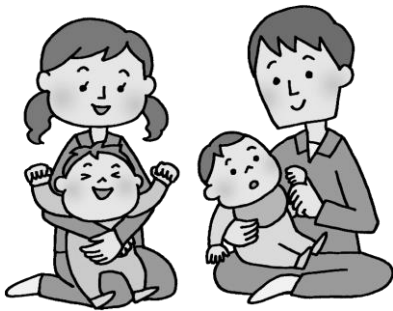
10. 企業主導型保育施設(企業が従業員の子どもを預かるために設置した認可外の保育施設)
11. その他の認可外保育施設(事業所内保育施設も含む)
12. ファミリー・サポート・センター
(地域において育児の援助を受けたい人で行いたい人が会員となり、育児について助け合う会員組織)
13. 児童発達支援事業所(サルビア学園等)
14. その他(自由記述)
15. 利用希望なし

◎問14 あて名のお子さんの幼児教育・保育事業をどこで利用したいですか。(○は1つ)

1. 住んでいる中学校区内
2. 「1.」以外の安城市内
3. 他の市町村 (市町村名 _____)

○問15 あて名のお子さんの入園にあたって、どのような視点で幼稚園・保育園・認定こども園等を選びますか。(○はいくつでも)

1. 自宅に近いこと
2. 職場に近いこと
3. 送迎バス等、登降園の利便性が良いこと
4. 公立であること
5. 私立であること
6. 幼児教育・保育の方針や理念が良いこと
7. 施設等幼児教育・保育環境が整っていること
8. 園開放等に参加した結果が好印象であること
9. 延長保育、休日保育があること
10. その他 (自由記述 _____)





休日に定期的に利用したい幼児教育・保育事業について伺います

◎問16 “土曜日、日曜日、祝日”の定期的な幼児教育・保育事業の利用希望について、利用したい時間帯をお答えください（一時的な利用は除きます）。

現在の利用の有無や、実際に利用可能な時間帯に関係なくお答えください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

（１）土曜日

①利用希望 (○は1つ)	②利用したい時間帯 開始と終了の時刻を24時間制で記入(例:9時～17時)
1. 利用する必要はない	時～ 時まで
2. ほぼ毎週利用したい	
3. 月1～2回利用したい	

（２）日曜日

①利用希望 (○は1つ)	②利用したい時間帯 開始と終了の時刻を24時間制で記入(例:9時～17時)
1. 利用する必要はない	時～ 時まで
2. ほぼ毎週利用したい	
3. 月1～2回利用したい	

（３）祝日

①利用希望 (○は1つ)	②利用したい時間帯 開始と終了の時刻を24時間制で記入(例:9時～17時)
1. 利用する必要はない	時～ 時まで
2. 祝日はほぼ利用したい	
3. 年間1～2回利用したい	

問16(1)～(3)で「3. 月（年間）に1～2回利用したい」と答えた方のみ

○問16-1 毎週ではなく、たまに利用したい理由は何ですか。（○はいくつでも）

1. 月に数回仕事が入るため
2. 平日に済ませられない用事をまとめて済ませるため
3. 親族の介護や手伝いをするため
4. その他（自由記述 _____）

「幼稚園」に通園している方にお伺いします。

◎問17 あて名のお子さんの夏休み・冬休み等、長期休暇期間中の幼稚園の利用を希望しますか。希望がある場合は、利用したい理由と時間帯をお答えください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

(1)利用希望 (○は1つ)	(2)利用したい理由 (○はいくつでも)	(3)利用したい時間帯 (開始と終了の時刻を 24時間制で記入)
1. 利用する必要はない		
2. 休みの期間中、ほぼ毎日 利用したい	1. 保護者の仕事のため 2. 買い物等の用事をまとめて済ませるため 3. 親族の介護や手伝いをするため	(例:9時～17時)
3. 休みの期間中、週に数日 利用したい	4. 息抜きのため 5. その他()	時～ 時 まで

アンケート調査は、もう少し続きます。
ご協力をお願いします。





お子さんの地域子育て支援事業の利用について伺います

◆安城市における子育て支援事業(親子が集まって過ごしたり、相談する場)

(参考)

あんぱ〜く	子育て支援の充実を図るために、子育て支援センター、つどいの広場、ファミリー・サポート・センターを1か所に集約し、図書館機能も持たせ、平成23年1月に安城市大東町に開設した施設です。
つどいの広場	あんぱ〜く「ほっとスペース」、北部福祉センター「北部ほっとスペース」、昭林公民館「ほのぼの広場」、アンフォーレ「ほっとスペース」として、乳幼児を持つ子育て中の親子が気軽に集い、交流できる場所を提供しています。
子育て支援センター	あんぱ〜く・二本木保育園・あけぼの保育園・さくら保育園・根崎こども園の中にあり、子育て相談や乳幼児の親子が遊ぶことができます。
児童センター	北部公民館・作野公民館・桜井公民館・二本木公民館・中部公民館、総合福祉センター、西部福祉センター、安祥福祉センター、明祥プラザ内にあり、18歳未満の子どもが自由に遊ぶことができます。
ファミリー・サポート・センター	あんじょうファミリー・サポート・センターに登録している「子育てを手助けしてほしい人(依頼会員)」と「子育ての協力をしていただける人(提供会員)」が会員となっており、お互いに助け合う会員組織です。

すべての方にお伺いします

◎問18 あて名のお子さんは、現在、地域子育て支援事業(親子が集まって過ごしたり、相談する場)を利用していますか。(○はいくつでも)

また、利用している場合は、おおよその利用回数(頻度)を()内にご記入ください。

1. 地域子育て支援拠点事業(あんぱ〜く、児童センター、子育て支援センター、つどいの広場、移動児童館)
⇒ 1週あたり()回 または 1か月あたり()回程度
2. その他、安城市で実施している類似事業(赤ちゃんサロン、乳幼児学級、幼稚園・保育園の園開放)
⇒ 1週あたり()回 または 1か月あたり()回程度
3. 利用していない

◎問19 上記のような地域子育て支援事業について、今は利用していないが、できれば今後利用したい、あるいは、利用日数を増やしたいと思いませんか。(○は1つ)

また、利用している場合は、おおよその利用回数(頻度)を()内にご記入ください。

1. 利用していないが、今後利用したい
⇒ 1週あたり()回 または 1か月あたり()回程度
2. すでに利用しているが、今後利用日数を増やしたい
⇒ 1週あたり()回 または 1か月あたり()回程度
3. 新たに利用したり、利用日数を増やしたいとは思わない

○問20 下記の事業で知っているものや、これまでに利用したことがあるもの、今後利用したいものをお答えください。(A～Cのそれぞれに○は1つ)

	A		B		C	
	知っている		これまでに利用したことがある		今後利用したい	
①保健センター(妊娠中から乳幼児期の相談・教室)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
②あんステップ(発達相談、療育)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
③公民館講座(家庭教育、乳幼児学級)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
④教育センター(教育相談)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑤保育園や幼稚園の園庭等の開放	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑥あんぱ〜く(子育てに関する相談)	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑦つどいの広場	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑧子育て支援センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑨児童センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑩ファミリー・サポート・センター	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑪子育て情報紙「ささえねっと」	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ
⑫児童遊園・ちびっこ広場	はい	いいえ	はい	いいえ	はい	いいえ



お子さんの不定期の幼稚園・保育園等の利用や 宿泊を伴う一時預かり等の利用について伺います

◎問21 あて名のお子さんについて、日中の定期的な保育や病気のため以外に、保護者の私
用、通院、不定期の就労等の目的で、不定期に利用している事業はありますか。

(○はいくつでも)

また、1年間のおおよその利用日数も()内にご記入ください。

利用している事業（複数回答可）	利用日数（年間）
1. 一時預かり (私用等、理由を問わずに保育園等で一時的に子どもを保育する事業)	() 日
2. 幼稚園の預かり保育 (通常の就園時間を延長して預かる事業のうち、不定期に利用する場合のみ)	() 日
3. ファミリー・サポート・センター事業 (安城市内の登録会員が子どもを預かる事業)	() 日
4. ベビーシッター	() 日
5. その他（自由記述)	() 日
6. 利用していない	

◎問22 あて名のお子さんについて、保護者の私用、通院、不定期の就労等の目的で、子育て
支援事業を利用したいですか。(○はいくつでも)

また、1年間の希望日数も()内にご記入ください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

1. 利用したい（ア～エに○）

2. 利用する必要はない

利用したい目的（複数回答可）	希望日数（年間）
ア. 私用（買い物、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の習い事等）、 リフレッシュ目的	() 日
イ. 冠婚葬祭、学校行事、子ども（兄弟姉妹を含む）や親の通 院等	() 日
ウ. 不定期の就労	() 日
エ. その他（自由記述)	() 日

◎問23 この1年間に、保護者の用事(冠婚葬祭、保護者・家族の病気等)により、あて名のお子さんを泊りがけで家族以外にみてもらわなければならないことはありましたか(預け先が見つからなかった場合も含む)。
 それぞれの日数も()内にご記入ください。

有無 (○は1つ)	1年間の対処方法(複数回答可)	日数(年間)
1. あった	ア. 親族・知人(同居者を含む)にみてもらった	() 泊
	イ. 短期入所生活援助事業(ショートステイ)を利用した (児童養護施設等で一定期間、子どもを保護する事業)	() 泊
	ウ. 認可外保育施設、ベビーシッター等を利用した	() 泊
	エ. 仕方なく子どもを同行させた	() 泊
	オ. 仕方なく子どもだけで留守番をさせた	() 泊
	カ. その他(自由記述)	() 泊
2. なかった		





あて名のお子さんが5歳以上である方 小学校就学後の放課後の過ごし方について伺います

◎問24 あて名のお子さんについて、放課後(平日の小学校終了後)の時間をどのような場所で過ごさせたいと思いますか。(○はいくつでも)
それぞれ○をつけた項目の週あたりの日数も()内にご記入ください。

◆安城市における放課後児童クラブ(参考)

放課後児童クラブ		地域によって学童保育等と呼ばれています。保護者が就労等により、昼間家庭にいない場合等に、支援員の下、子どもの生活の場を提供するものです。事業の利用にあたっては、 <u>下記の利用料等</u> がかかります。
◆平成30年度		
	公立児童クラブ	民間児童クラブ
利用料	5, 200円 (8月のみ8, 600円)	5, 200円～12, 500円 (8月のみ5, 500円～13, 000円)
おやつ代等	1, 000円	1, 000円～3, 500円

【小学校1年生から小学校4年生までの過ごし方】

(1) 過ごさせたい場所 (○はいくつでも)	(2) 利用希望日数 (数字を記入)
1. 自宅	週()日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週()日くらい
3. 習い事(ピアノ教室、水泳、空手、学習塾等)	週()日くらい
4. 児童センター	週()日くらい
5. 放課後児童クラブ(学童保育)	週()日くらい
⇒小学校()年生まで利用したい	
6. 放課後等デイサービス	週()日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週()日くらい
8. その他(公園、外遊び等)	週()日くらい

(参考)

放課後等デイサービス	学校に就学している障がい児に、授業の終了後又は休業日に、生活能力の向上のために必要な訓練、社会との交流の促進その他の便宜を供与するサービスのこと。
------------	---

【小学校5年生から小学校6年生までの過ごし方】

(1)過ごさせたい場所 (○はいくつでも)	(2)利用希望日数 (数字を記入)
1. 自宅	週 () 日くらい
2. 祖父母宅や友人・知人宅	週 () 日くらい
3. 習い事 (ピアノ教室、水泳、空手、学習塾等)	週 () 日くらい
4. 児童センター	週 () 日くらい
5. 放課後児童クラブ (学童保育)	週 () 日くらい
⇒小学校 () 年生まで利用したい	
6. 放課後等デイサービス	週 () 日くらい
7. ファミリー・サポート・センター	週 () 日くらい
8. その他 (公園、外遊び等)	週 () 日くらい

○問25 あて名のお子さんの土曜日、日曜日、祝日の放課後児童クラブの利用希望について
お答えください。(○はA～D項目でそれぞれ1つずつ)
それぞれ○をつけた項目ごとに利用したい時間帯をご記入ください。

※これらの事業の利用には、一定の利用者負担が発生します。

	利用希望	利用したい時間帯
A 土曜日	1. 1～4年生の間は利用したい 2. 5～6年生の間は利用したい 3. 利用する必要ない	時～ 時まで
B 日曜日	1. 1～4年生の間は利用したい 2. 5～6年生の間は利用したい 3. 利用する必要ない	時～ 時まで
C 祝日	1. 1～4年生の間は利用したい 2. 5～6年生の間は利用したい 3. 利用する必要ない	時～ 時まで
D 長期休暇 (夏休み、冬休み等)	1. 1～4年生の間は利用したい 2. 5～6年生の間は利用したい 3. 利用する必要ない	時～ 時まで



子育て全般についてお伺いします

すべての方にお伺いします

★問26 安城市の保育園、幼稚園、認定こども園の施設について、それぞれの項目で重要だと思いませんか。（それぞれ○は1つつ）

＜重要度＞	重要	やや重要	どちらでもない	あまり重要ではない	重要ではない
1. 施設環境（園舎、園庭）	1	2	3	4	5
2. 教諭、保育士の適正配置	1	2	3	4	5
3. 実施行事	1	2	3	4	5
4. 給食	1	2	3	4	5
5. 利用料金	1	2	3	4	5
6. 駐車場	1	2	3	4	5
7. 預かり時間	1	2	3	4	5
8. 保護者への対応・情報提供	1	2	3	4	5

★問27 あなたは、あて名のお子さんが小学校に進学する際に感じる不安はありますか。（○は1つ）

1. 他人とのコミュニケーションがとれるか
2. 先生の話聞いてもらえるか
3. 体力がついていくか
4. 生活習慣がくずれないか
5. 特にない
6. その他（自由記述

）

★問28 将来、公立の幼児教育・保育施設を民間によって運営することになった場合、どのように思いますか。(それぞれに○は1つ)

＜内容＞	そう思う	やや思う	そう思わない
1. 保育サービスが向上する	1	2	3
2. 施設的环境が整備される	1	2	3
3. 保育士や教職員の資質が向上する	1	2	3
4. 地域との連携が密になる	1	2	3
5. 保育以外のサービスや対応が良くなる	1	2	3
6. その他（自由記述			）

★問29 将来、公立の幼児教育・保育施設を民間によって運営することになった場合、不安に思うことはありますか。(○はいくつでも)

1. 運営が民間であること
2. サービスの低下
3. 保育士や教職員の資質
4. 他の保育園・幼稚園・認定こども園や、小学校との連携
5. 特に理由はないが不安である
6. その他（自由記述

）

○問30 あて名のお子さんの子育て(教育を含む)に関する情報をどのように入手していますか。(○はいくつでも)

- | | |
|----------------|----------------------|
| 1. 親族（親・兄弟姉妹等） | 2. 隣近所の人・知人・友人 |
| 3. 子育てサークルの仲間 | 4. 保育園・幼稚園・認定こども園・学校 |
| 5. 市役所や市の機関 | 6. 市の広報やパンフレット |
| 7. テレビ・ラジオ・新聞 | 8. 子育て雑誌・育児書 |
| 9. インターネット | 10. コミュニティー誌 |
| 11. 情報の入手先がない | 12. 情報の入手手段がわからない |
| 13. その他（自由記述 | ） |

○最後に、幼児教育・保育環境の充実等、子育ての環境や支援に関してご意見がございましたら、ご自由にご記入ください。

This image shows a single sheet of white paper with horizontal ruling lines. The lines are evenly spaced and run across the width of the page. There is a solid vertical line on the left side, creating a margin. The paper appears to be from a notebook or a standard ruled document.

長時間、調査にご協力いただきまして大変ありがとうございました。この調査結果は、今後の本市の子ども・子育て支援事業計画の策定時のデータとして、有効に活用させていただきます。

切手は貼らずに同封の返信用封筒に入れ、**12月21日(金)まで**に郵便ポストにご投函ください。

なお、調査票や封筒にお名前を書く必要はありません。